

教師の多忙化解消

勤務時間の把握にタイムカードの導入を

答弁：勤務時間以外の仕事時間が長時間に及ぶ状況がある場合には、健康のため、その解消に向け今後とも力を注ぎ、具体的な取組についても検討してまいります。

及川 和子 議員
子どもたちの健全な成長、確かな学力を培うため、子どもたちに寄り添い成長を育んでいくのが先生であり、その先生が心身ともに元気であることが大事です。熱心な先生ほど自身の健康を顧みないことから、管理職の校長先生等が教職員の健康管理を十分行うこと、教師一人ひとりの勤務時間を把握することが必要です。教師の多忙化解消に向けて、教育委員会のイニシアチブを発揮してもらいたいと思いますが、考えをお伺いします。

教育長 教育委員会では、勤務時間の適正化に向け、これまでも校長・園長協議会等を通して、教職員自身が自己管理の徹底に努めること、管理職がこれを見届け勤務時間等の適正な管理をすることを指導してまいりました。さらに、今後は勤務時間の管理において、より一層徹底させてまいります。
いづれにいたしまして、勤務時間以外の仕事時間が長時間に及ぶ状況がある場合には、健康のため、その解消に向け今後とも力を注ぎ、具体的な取組についても検討してまいります。

米や米粉の消費と販売を促進するために

販売可能な米や米粉を使った商品の日本一コンテストの開催を

答弁：地元の米や米粉を利用したレシピを採用し、米の消費拡大に取り組んでおります。さらに、今後、開催方法、効果的な活用手法等を研究し、米の消費拡大が図れるよう努めます。

鈴木 久才 議員
鈴木 「クックパッド」の投稿サイトに米を使った多くのデザートが紹介されているほか、近年米や米粉を使った食品などもたくさん創作されています。そこで、市内で米加工食品教室を開き、日本一コンテストを開催し、入賞商品を市内飲食店や商店で販売してもらうことを提案します。米粉や乾燥・加工業者の育成や誘致により雇用を拡大し、その結果住みやすいまちとなり人口増につながっていくと思います。人口増の第一歩となると思います。考えをお伺いします。

経済部長 加須市においても、多くの方々が米を加工した商品を開発、販売しており、市の生涯学習講座等が開催する料理講座においても地元の米や米粉を利用したレシピを採用し、米の消費拡大に取り組んでおります。
ご提案のコンテストについては、米や米粉を使った様々な加工品のアイデアが集められ、販売、消費の拡大につながるものとして伺ったところでございます。今後、開催方法、効果的な活用手法等を研究し、米の消費拡大が図れるよう努めてまいります。

子どもを産み育てやすいまちづくり

産婦人科増設に向けての考えは

答弁：産婦人科の医師が特定の地域に集中し、この地域で少なくなってしまう状況があります。こうした中で、産婦人科の開業についての制度を創り、関係方面に働きかけるなどして、今後も課題の解決に努めてまいります。

佐伯 由恵 議員
佐伯 市内には産婦人科が十分整備されておらず、少子化対策を進める上で大きな壁となっています。産婦人科を増やすため、本市では平成28年度予算に医療機関への支援にかかる経費を計上していますが、その具体的な内容をお伺いします。

また、産婦人科増設の実現に向けて医師会、県や国に強く働きかけ、力を尽くしていただきたいと思います。健康医療部長 国や県への要望など、これまでの取組みに加え、本市で特に整備が必要な地域に集中し、この地域が少なくなってしまうという状況がございます。こうした中で、産婦人科の開業を促進する制度を創り、関係方面に働きかけるなどして、今後も課題の解決に努めてまいります。

中小企業支援

中小企業への更なる支援についての考えは

答弁：中小企業の支援については、景気雇用対策本部を設置し全庁的な対応をしております。今後も加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けた新たな取組も含め、全力で取り組んでまいります。

中條 恵子 議員
中條 地域の活性化のためには、地域の実情をきめ細かく把握し適切な対応策を講じていくことが必要であり、自治体における中小企業支援が非常に重要であると思います。

中小企業が元気になれば、おのずとそこで働く人々の賃金に良い影響が出てきます。消費も伸び、まちが元気になるという好循環のサイクルができてくるはずですが、中小企業への更なる支援について考えをお伺いします。

市長 本市では、従来から景気雇用対策本部を設置し全庁的な対応をしております。その中には、雇用創出の拡大はもちろんのこと、市内中小企業向け融資制度の充実など、関係機関との連携のもと、本市の実態にあった支援策の拡充に努めております。

このような施策の展開をさらに充実させながら、積極的に市内中小企業の支援を図るとともに、加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けた新たな取組も含め、これからも全力で取り組んでまいります。